

◎ 調理方法や献立の工夫などにより、調理くずや食べ残しなどの生ごみが少なくなるように努めましょう。

◎ 食材や調味料などは途中で捨てたりせず、最後まで使い切りましょう。

◎ 生ごみについては、ごみとして出す前に水切りを徹底しましょう。

◎ 補助金を活用して家庭用生ごみ処理機器等を導入し、生ごみの減量化・資源化を推進しましょう。

#### 補助金の 限度額

機械式生ごみ処理機…購入金額の2分の1以内(限度額が20,000円)  
コンポスト容器…購入金額の2分の1以内(限度額が1基につき4,000円)  
※機械式生ごみ処理機…補助対象は1世帯につき1基まで コンポスト容器…補助対象は1世帯につき2基まで

#### 4 ごみ出しのときの取り組み

- ◎ 行政の資源物収集に出す前に、地域の集団回収やスーパーの店頭回収、使用済製品の販売店回収などに協力しましょう。
- ◎ リサイクルショップやフリーマーケットなどを上手に活用して、不用品をリサイクルしましょう。
- ◎ 資源物は、区分毎にきちんと分別して出しましょう。
- ◎ ごみはルールを守って、きちんと分別して所定の場所に出しましょう。
- ◎ 庭木の剪定枝などは「ごみ」として出さず、ある程度の量をまとめて「資源物」として出しましょう。



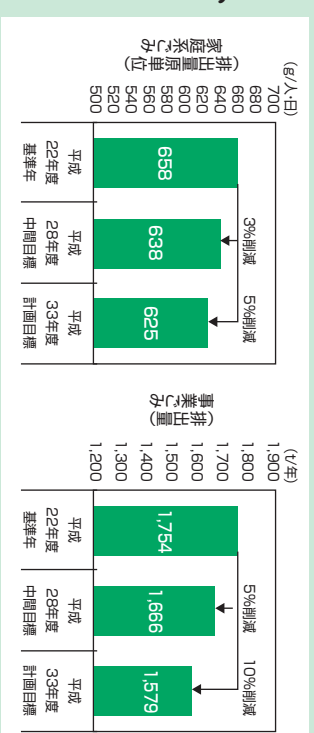
# 50%減らしましょう

## ごみ減量化にご協力をお願いします

#### 【参考】一般廃棄物処理基本計画より抜粋

平成24年4月に策定した一般廃棄物処理基本計画では、平成22年度を基準年として、家庭系ごみは、排出量の原単位(1人1日当たりのごみ排出量)を対象として平成28年度までに3%削減、平成33年度までに5%削減を目指します。

また、事業系ごみは、排出量全体を対象として、平成28年度までに5%削減、平成33年度までに10%削減を目指します。



#### 問い合わせ先

下野市 市民生活部 環境課まで

☎0285-40-5559

FAX 0285-40-5572

✉ [kankyuu@city.shimotsuke.lg.jp](mailto:kankyuu@city.shimotsuke.lg.jp)